

地上型3Dレーザースキャナー



機器の特徴<RIEGL VZ-1000>

- 短時間に広範囲の3次元座標を取得
- 測定精度 $\pm 8\text{mm}$ (標準誤差) $\pm 0.00001 \times \text{測定距離 m}$ (例 400m=12mm)
- 離れた場所から安全に計測可能
- 土量計算や任意地点の縦横断面図が作成可能
- 水中部を除く地上部 (積雪含む) で計測可能

活用方法

■ 河川・堤防・ダム調査

崩壊・沈下等の変状を縦断面図、横断面図等に展開し、土量の計算や3次元データ資料として活用できます。対策工検討や施工管理、洪水氾濫シミュレーション等の基礎データとして活用できます。

■ 道路舗装面劣化調査

道路舗装面の経年変化を交通を遮断せずに計測が可能で、維持管理の基礎データが取得できます。

■ 災害調査

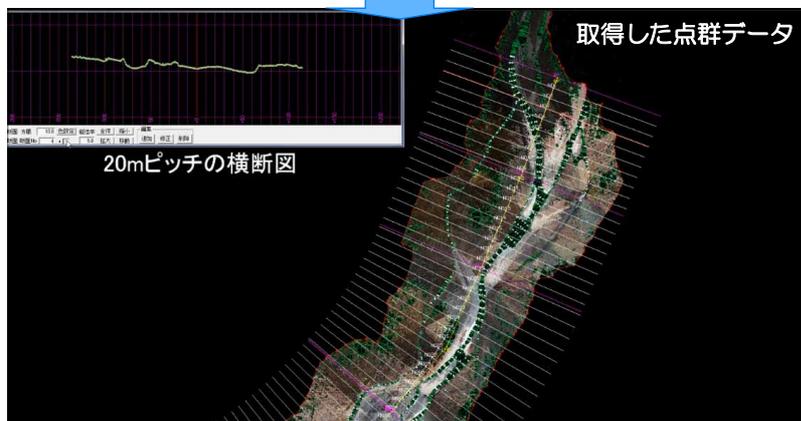
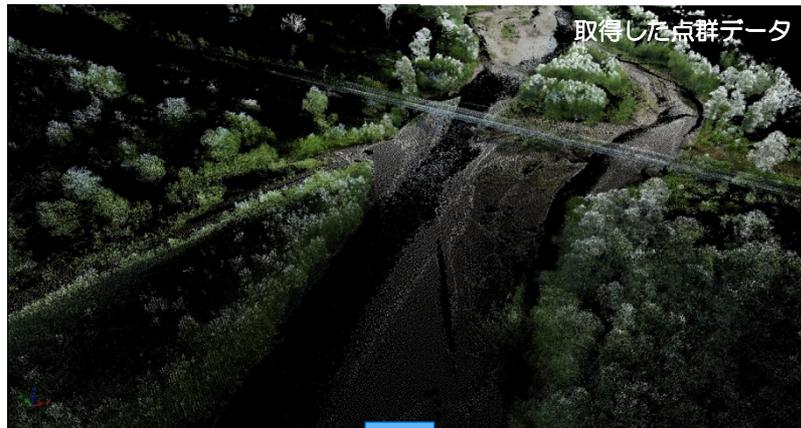
災害発生時の初動調査として、状況確認や復旧対策検討のための情報を迅速かつ安全に収集できます。

■ 施工管理 (出来高管理)

施工断面形の確認や出来形管理を効率的に行うことができます。

使用実績例

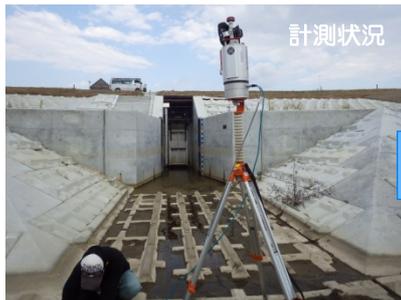
◆ 河道変状調査



河道変化状況を計測後、作成した TIN データ※によって任意の断面で確認し、対応等の検討に使用

※TIN データ：地表面を三角形の集合で表現するデジタルデータ構造

◆ その他の実績



新設の樋門等を竣工時から継続して計測し、経年的な沈下等の変化量を把握
 定点観測の一手法としても活用可能です

